

## 特例子会社として 障害者の社会的自立を図る

### 富士ソフト企画株式会社

本社所在地：神奈川県鎌倉市  
事業内容：名刺作成、データ入力・集計、ホームページ作成・運営・管理、サーバー管理、印刷物の製作、ダイレクトメールの発送、障害者委託訓練  
従業員数：150名



#### 障害者の自立を目指し 生活力を高める

富士ソフト企画は、IT大手の富士ソフト株式会社の特例子会社で、上記「事業内容」にあるように、主にパソコンを使う仕事を中心に業務を展開しています。

富士ソフト企画が障害者の採用を開始したのは平成12年4月。平成14年1月には法定雇用率1:8パーセントを達成、同15年4月からは精神障害者の採用を始めています。現在総従業員数150名のうち、障害者は122名。とりわけ精神障害者の比率が高く、障害者従業員の約半数を占めています。

代表取締役社長の長嶋龍平さんは「障害者にとって就職はゴールではありません。就職後、会社の中で多くの経験を積み、社会人としての素養を身につけて自立することが大切です」と話します。そうした考えに基づき、同社では経営理念として「自立と貢献」と「生涯働ける会社」を掲げています。「自立と貢献」とは自分で判断し行動することで知識を増やし、技能を高めて社会に役立つ人間に成長することを意味しています。また「生涯働ける会社」とは、単に終身雇用を意味するだけではなく、自分を高めることで会社を背負うという意識をもち、生涯働ける会社にしよという意欲を社員に対して喚起するものです。こうした理念を形あるものにするための取り組みの一つが、社員による社

屋の掃除や植栽の整備です。

「掃除は生活力を培うには最適な方法です。障害者が生活力を身につければ自立につながります。また身につけた生活力がベースとなって、さまざまな知識や技能が習得でき、より確かな自立を期待できます」（長嶋代表取締役）。社員の中の有志は、本社近くのフラワーセンター（大船植物園）でボランティアとして掃除を行っており、社会貢献にも結び付いています。

ほかに、障害者雇用のセミナーなどに障害者社員を同行させて発表の機会を与えたり、個人の趣味を含め、さまざまな機会をこらえて表彰を行うなど、多彩な取り組みが行われています。「仕事に直接関係がないところでも、社員たちのモチベーションを高める機会はたくさんあります。セミナーでの発表やさまざまな表彰もその一つです。それが会社を担うという意欲につながり、生涯働ける会社という意識が根付くきっかけになるのです」（長嶋代表取締役）。

#### 障害者の特性に考慮した 業務遂行と環境整備

富士ソフト企画では、ハローワークを通して採用活動を行い、応募者には性格検査と2回の面接を行い、採否を決定します。採否のポイントについて長嶋さんは「人間性と協調性」とし、「この二つがあれば、多少難しい仕事でも周囲の協力を得ながら遂行できます」と語ります。

新入社員には文章入力や表計算などのソフトウエアの操作をテーマに研修が行われます。この研修の講師は、障害者でもある社員たちです。同社が神奈川県から受託した精神障害者を対象とした委託訓練（障害者の就労支援プログラム）でも、精神障害をもつ社員が、講師を務めています。

実際の作業はチーム単位でペアを組んで進められます。そうすれば、一人が体調不良で休んだ場合でも支障なく仕事が進められます。お互いにサポートし合うことでスキルも高まります。また上司は部下に対し、具体的にわかりやすい丁寧な指示を行うことにしています。こうすることでミスやトラブルを減らすことができ、作業も円滑に進みます。障害者で主任、リーダーを務め、業務遂行の中核を担っている社員もいます。

同社ではフレックスタイム制の導入、カウンセリング室の設置とカウンセラーの配置、メンタルヘルスケアをテーマとした管理監督者研修など、制度面からも障害者が働きやすい環境を実現しています。

